

Innovation from Teenagers

～10代からの提言～

課題

制定理由

関わる
SDGs

現状

解決策

上田染谷丘高等学校 1年6組 堤太洋

課題

- ・土にかえらないプラスチックポイ捨てによる海洋汚染
- ・魚が餌だと勘違いして食べる
- ・プラスチックを食べた魚を私達が食べてしまう可能性





14

海の豊かさを守
ろう

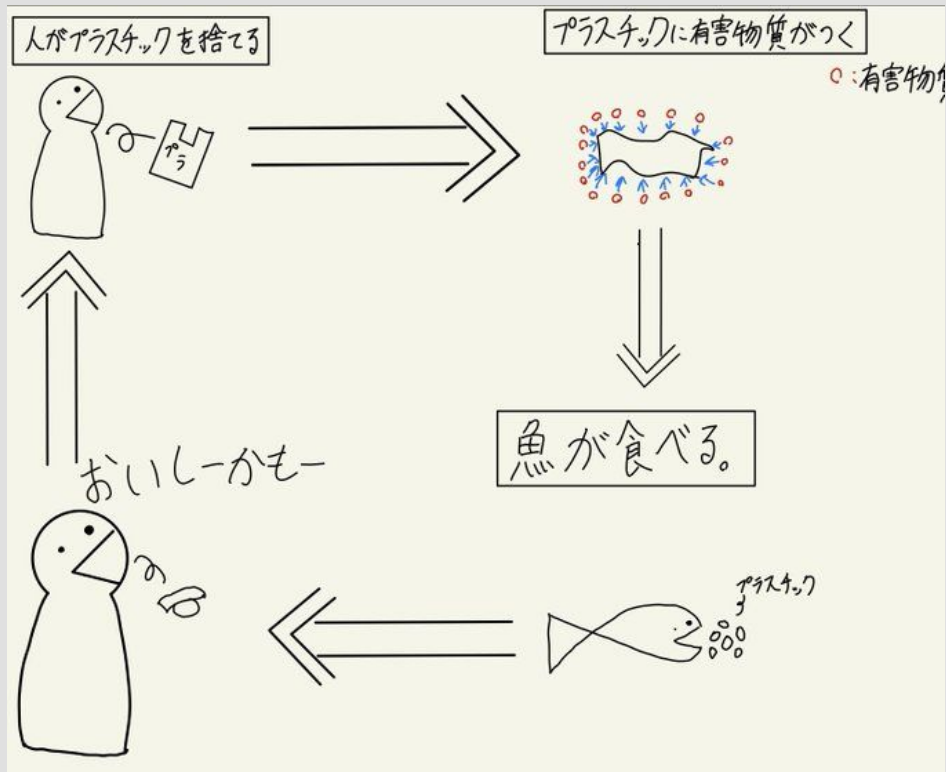
重点的に考える達成目標

2025年までに、海洋ごみや富栄養化など、

特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、

あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らす。

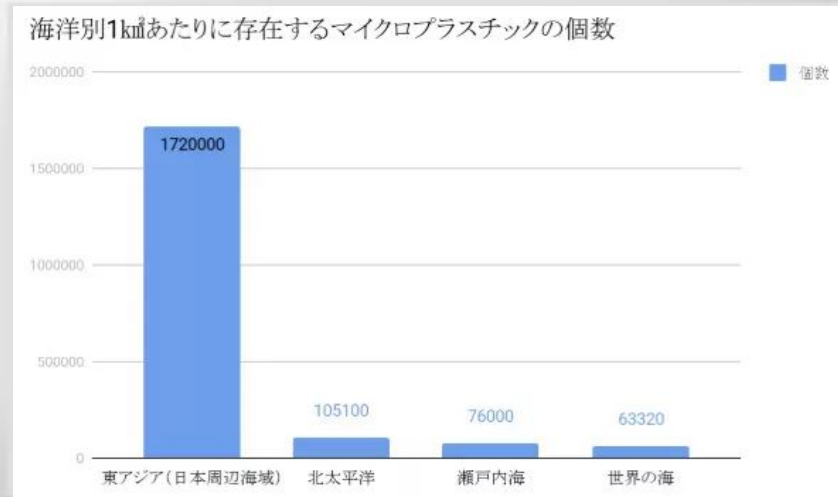
現状



プラスチック自体は問題はないがプラスチックにつく有害物質で私達が巡り巡って健康被害を引き起こす可能性がある

データで見る今の現状

- ・日本の周りにプラスチックの個数が圧倒的に多い
- ・私達日本人の意識がうすいことがわかる



解決策

- ・生分解性プラスチックのレジ袋やプラスチック製品を多くする
- ・私達が意識するためにCMなどで定期的な呼びかけ
(脳にやきつけるため)(内容としてはマイバッグ持参などの)
- ・リサイクルをする

乗り気にするためにどうしたら
いいか……

～罰ではなくご褒美を～

続き

人間は直接的な自分への利益がない限り、積極的に動こうとしない、将来的にはまわりまわって自分の利益になるかもしれないのに目先のことしか見えていない愚民のために目の前に人参をぶら下げるべきだと考えた。

そこで出てきたのが ポイント、国からの支援費だ。

国からの
支援費

まずは国からの支援費によって生分解性のプラスチックを使う場合企業に送る形にすれば、前向きに検討してくれるだろう、そして周りの競合他社が使い始めたらネームバリューに傷をつけないためにより検討してくれるだろう

ポイント

そして企業よりも意識の低い国民に対してはポイント精度にすることでより積極的にうごいてくれると考えた。
ポイントの付与の仕方はまあおまかせするがマイナンバーと紐づけてマイナポイントにすれば政府としてもマイナンバー所有者を増やしたいだろうし一石二鳥かと